

## 山崎亮業績目録

### ○著書

- 3 山崎亮『スヤ・「森神」・金屋子神——山陰の宗教民俗覚書』私家版(2024.3)、174p.
- 2 山崎亮『デュルケーム宗教学思想の研究』未来社(2001.12)、266p.
- 1 渡邊喜勝／諸岡道比古／渡辺義嗣編『死のエコロジー』金港堂(1994.3, 294p.)、第3章「先端医療と死——脳死と臓器移植」pp.143-192

### ○翻訳

- 3 ロバートソン・スミス／フレイザー／コドリントン／マレット著（江川純一／山崎亮監修）『タブー・マナ・供犠——英国初期人類学宗教論集』国書刊行会(2023.3)、488p.
- 2 エルヴェ＝レジェ他編『フランス宗教事象事典』みすず書房(2019.5, 800p.)、ジャン＝ピエール・アルペール／アルペール・ピエット（山崎亮訳）「儀礼（儀式的な、儀式性）」、pp. 82-94
- 1 エミール・デュルケーム著（山崎亮訳）『宗教生活の基本形態——オーストラリアにおけるトーテム体系』ちくま学芸文庫(2014.9)、上巻 536p.、下巻 511p.：電子書籍版『宗教生活の基本形態（全）』（2019.4）

### ○論文

- 36 「大仏空の宗教思想と「青い芝」——自覚と叫びとしての念仏」『島根大学人間科学部紀要』7 (2024.3)、pp.1-13
- 35 「社会学年報学派における認識論の構図——あるいはデュルケームと哲学」『社会文化論集 島根大学法文学部紀要 社会文化学科編』18 [出口顕教授退職記念号] (2022.3)、pp.107-127
- 34 「金屋子神縁起譚の生成と展開」島根県古代文化センター研究論集第24集『たたら製鉄の成立過程』(2020.3)、pp.1-26
- 33 「明治初年隠岐島神社調査とその帰結——『隠岐國神社秘録』再構成の試み」島根県古代文化センター研究論集第20集『隠岐の祭礼と芸能に関する研究』(2018.8)、pp.39-53
- 32 「宗教学者」デュルケームの生成——社会学年報学派の宗教学思想・中間考察」『島根大学人間科学部紀要』1 (2018.3)、pp.1-17
- 31 「障害者自立思想の源流——「青い芝の会」の宗教思想をめぐって」『社会文化論集 島根大学法文学部紀要 社会文化学科編』13 (2017.3)、pp.19-38
- 30 「社会学年報学派の呪術論素描」久保田浩・江川純一編『「呪術」の呪縛 下』リトン(2017.2, 414p.)、pp.37-63
- 29 「金屋子神縁起類の諸相——「金屋子神略記」と「金山姫宮縁記」をめぐって」『社会文化論集 島根大学法文学部紀要 社会文化学科編』11 (2015.3)、pp.107-127
- 28 「木ノ下金屋子神社の成立と「金屋子神略記」」島根県雲南市教育委員会『田部家のたたら研究と文書目録——田部家文書調査報告書（上）』（2012.3）、pp.136-156
- 27 "Japan's reception of *Les formes élémentaires de la vie religieuse*", *Religion* 42-1 (2012.2)、pp.53-62.
- 26 「「金屋子信仰」再考——研究史の再検討と石見地方の金屋子神祭祀」島根県古代文化センター『山陰におけるたたら製鉄の比較研究』(2011.10)、pp.25-38
- 25 「脳死論の現在——臓器移植法の改定をめぐって」『社会文化論集 島根大学法文学部紀要 社会文化学科編』7 [加藤克夫教授退職記念号] (2011.3)、pp.145-162
- 24 「横塚晃一思想と「宗教」——1970年代「青い芝の会」の運動をめぐって」島根大学法文学部福祉社会教室『島根大学社会福祉論集』3 [中川政樹教授退職記念号] (2010.3)、pp.54-68
- 23 「石見地方における「森神」をめぐって——明治初年「神社書上帳」を手がかりに」山陰民俗学会『山陰民俗研究』15 (2010.3)、pp.39-59
- 22 "La relativisation de la notion de mort : la mort cérébrale et la transplantation d'organes au Japon", in Marie-Jo Thiel(ed.), *Donner, recevoir un organe : Droit, dû, devoir*, Presses Universitaires de Strasbourg, 2009.5, pp.85-97.
- 21 「ユベール・モース「供犠の本質と機能に関する試論」の生成——社会学年報学派の宗教学思想Ⅰ」『社会文化論集 島根大学法文学部紀要 社会文化学科編』5 (2009.3)、pp.63-84
- 20 「明治初期旧石見銀山領における森神信仰——数量的把握の試み」相良英輔先生退職記念論集刊行会編『たたら製鉄・石見銀山と地域社会——近世・近代の中国地方』清文堂(2008.2, 556p.)、pp.255-275
- 19 「社会学年報学派の宗教学思想・序説——『社会学年報』宗教社会学セクションの構成を中心に」『島根大学教育学部紀要（人文・社会科学）』40 (2006.12)、pp.92-108
- 18 「墓上施設の現在——隠岐、対馬、壱岐におけるスヤをめぐって」島根県古代文化センター『古代文化研究』13 (2005.3)、pp.82-109
- 17 「オウム真理教事件と宗教学——地下鉄サリン事件の10年後に」島根大学福祉文化研究会『福祉文化』4 [木村東吉先生退官記念号] (2005.3)、pp.35-44
- 16 「死をどうとらえるかⅡ：脳死・臓器移植問題の始点——和田移植前後の新聞記事を手がかりに」島根大学教育学部福祉文化研究会『福祉文化』3 (2004.2)、pp.11-25
- 15 「死をどうとらえるか——日本社会における脳死・臓器移植問題の移り行き」島根大学教育学部福祉文化研究会『福祉文化』2 (2003.2)、pp.21-39
- 14 「荒神祭祀論のための覚書——出雲地方を念頭に置いて」島根大学教育学部社会科教育研究室編『有馬毅一郎先生退官記念論集 社会科教育実践の新展開』(2002.8, 299p.)、pp.49-62
- 13 「死はいかにして教えられるのか——「死への準備教育」を考える」島根大学教育学部福祉文化研究会『福祉文化』創刊号(2001.3)、pp.1-14
- 12 「隠岐島前の墓上施設——「スヤ」の現象学に向けて」山陰民俗学会『山陰民俗研究』6 (2001.3)、pp.26-38
- 11 「脳死・臓器移植問題の文化論的位相——現代日本における死生観の一断面」島根大学教育学部社会科教育研究室『社会科研究』23 (1998.3)、pp.13-28
- 10 「日本の祭祀組織論——宮座と頭屋制をめぐって」島根県古代文化センター調査研究報告書2『島根半島の祭礼と祭祀組織』(1997.3)、pp.114-122
- 9 「デュルケーム宗教論における主知主義と主意主義」日本宗教学会『宗教研究』69-3 (1995.12)、pp.1-25
- 8 「社会と宗教——デュルケーム宗教論の展開」楠正弘編『宗教現象の地平——思想・人間・文化』岩田書院(1995.11, 473p.)、pp.101-140
- 7 「都市近郊農村における伝統的信仰の諸相——仙台市泉区福岡地区の事例から」[華園聰磨と共著] 東北大学日本文化研究施設『日本文化研究所研究報告別巻』30 (1993.3)、pp.17-44
- 6 「デュルケームにおける宗教と人間——『宗教生活の基本的諸形態』解釈の試み」東北大学文学会『文化』56-1/2 (1992.9)、pp.21-40
- 5 「デュルケーム宗教論の展開——『宗教生活の基本的諸形態』への道程」東北大学文学会『文化』53-3/4 (1990.3)、pp.1-20
- 4 「デュルケームにおける道徳と宗教」印度学宗教学会『論集』15 (1988.12)、pp.39-55
- 3 「初期西田哲学における宗教の問題」東北印度学宗教学会『論集』14 (1987.12)、pp.75-92
- 2 「デュルケーム宗教論における行為の問題」東北印度学宗教学会『論集』13 (1986.12)、pp.21-37
- 1 「社会と個人——デュルケーム宗教社会学の基底」東北印度学宗教学会『論集』11 (1984.12)、pp.45-65

## ○その他

- 75 「福祉社会教室の来歴——創設 25 周年の節目に」島根大学人間科学部福祉社会教室『島根大学社会福祉論集』9 (2024.3)、pp.xiii-xix
- 74 「大仏空著作集 (三) ——Ⅳ歴史へのまなざし/Ⅴ晩年の思索」島根大学人間科学部福祉社会教室『島根大学社会福祉論集』9 (2024.3)、pp.1-31
- 73 「翻刻 藤井宗雄著『石見国神社記』巻六邑智郡下 (後編)」[錦織稔之と共同執筆] 島根県古代文化センター『古代文化研究』32 (2024.3)、pp.127-145
- 72 「比較宗教学講義Ⅳ——仏教/おわりに」『島根大学人間科学部紀要』7 (2024.3)、pp.15-43
- 71 「書評と紹介: 平田文子著『デュルケム世俗道徳論の中のユダヤ教——ユダヤの伝統とライシテの狭間で』」日本宗教学会『宗教研究』97-2 (2023.9)、pp.275-280
- 70 「大仏空著作集 (二) ——Ⅱ障害者解放に向けて/Ⅲみずからを語る」『島根大学人間科学部紀要』6 (2023.3)、pp.27-82
- 69 「翻刻 藤井宗雄著『石見国神社記』巻六邑智郡下 (中編)」[錦織稔之と共同執筆] 島根県古代文化センター『古代文化研究』31 (2023.3)、pp.117-139
- 68 「比較宗教学講義Ⅲ——イスラム教」『島根大学人間科学部紀要』6 (2023.3)、pp.1-26
- 67 「供犠とトーテムイズム、タブー、あるいはマナ概念の構築」『タブー・マナ・供犠——英国初期人類学宗教論集』国書刊行会(2023.3)「解説」、pp.417-429
- 66 「翻刻 藤井宗雄著『石見国神社記』巻六邑智郡下 (前編)」[錦織稔之と共同執筆] 島根県古代文化センター『古代文化研究』30 (2022.3)、pp.73-96
- 65 「比較宗教学講義Ⅱ——キリスト教」『島根大学人間科学部紀要』5 (2022.3)、pp.1-26
- 64 「大仏空著作集 (一) ——Ⅰ基底としての「宗教」」島根大学人間科学部福祉社会教室『島根大学社会福祉論集』8 (2022.2)、pp.1-22
- 63 「翻刻 藤井宗雄著『石見国神社記』巻五邑智郡上 (後編)」[錦織稔之と共同執筆] 島根県古代文化センター『古代文化研究』29 (2021.3)、pp.67-86
- 62 「比較宗教学講義Ⅰ——宗教のとらえ方」『島根大学人間科学部紀要』4 (2021.3)、pp.1-30
- 61 「翻刻 藤井宗雄著『石見国神社記』巻五邑智郡上 (前編)」[錦織稔之と共同執筆] 島根県古代文化センター『古代文化研究』28 (2020.3)、pp.117-136
- 60 「脳死の語られ方——一宗教学者から見た脳死・臓器移植問題」島根大学人間科学部福祉社会教室『島根大学社会福祉論集』7 [福祉社会コース開設 20 周年記念号] (2020.3)、pp.69-75
- 59 「巻頭言」島根大学人間科学部福祉社会教室『島根大学社会福祉論集』7 [福祉社会コース開設 20 周年記念号] (2020.3)
- 58 「解題「文人医師」稲坂謙三と白山」「おわりに」山崎亮編『稲坂謙三遺文集——白山の麓で』私家版(2019.7, 107p.)、pp.92-107
- 57 「大山と三徳山をめぐる歴史宗教民俗学: 坂田宏編著『大山と三徳山——その信仰と行事』(書評)『山陰中央新報』読書欄(2019.4.28)
- 56 「翻刻 藤井宗雄著『石見国神社記』巻四那賀郡下 (後編)」[錦織稔之と共同執筆] 島根県古代文化センター『古代文化研究』27 (2019.3)、pp.59-93
- 55 「隠岐島の廃仏毀釈をめぐる」島根県立古代出雲歴史博物館『島根県立古代出雲歴史博物館企画展 隠岐の祭りと芸能』(2018.12)、pp.108f.
- 54 「翻刻 藤井宗雄著『石見国神社記』巻四那賀郡下 (前編)」[錦織稔之と共同執筆] 島根県古代文化センター『古代文化研究』26 (2018.3)、pp.31-65
- 53 「パネル デュルケム宗教学思想の可能性——没後 100 年に寄せて」(「宗教学者」デュルケムの生成、「パネルの主旨とまとめ」) 日本宗教学会『宗教研究』91 別冊(2018.3)、pp.54f., 59f.
- 52 「日本社会における多様な宗教文化の現状と今後を見晴らす——書評: 桜井義秀『人口減少時代の宗教文化論——宗教は人を幸せにするか』」『図書新聞』3329、12月2日号(2017.11.25)
- 51 「翻刻 藤井宗雄著『石見国神社記』巻三那賀郡上 (後編)」[錦織稔之と共同執筆] 島根県古代文化センター『古代文化研究』25 (2017.3)、pp.35-58
- 50 「「青い芝の会」の宗教思想」日本宗教学会『宗教研究』90 別冊(2017.3)、pp.423f.
- 49 「書評と紹介: 宇野重規・伊達聖伸・高山裕二編著『共和国が宗教か、それとも——十九世紀フランスの光と闇』」日本宗教学会『宗教研究』90-2 (2016.12)、pp.147-152
- 48 「翻刻 藤井宗雄著『石見国神社記』巻三那賀郡上 (前編)」[錦織稔之と共同執筆] 島根県古代文化センター『古代文化研究』24 (2016.3)、pp.51-78
- 47 「一宗教学者から見た脳死・臓器移植問題」『第 49 回日本臨床腎移植学会プログラム・抄録集』(2016.3)、p.99
- 46 「死をめぐる宗教民俗——両墓制と墓上施設」松江市史編集委員会編『松江市史 別編 2 民俗編』[第六章「祭り」と信仰] 第四節「特徴的な宗教民俗」第七項] (2015.9, 779p.)、pp.536-548
- 45 「小祠をめぐる宗教民俗」松江市史編集委員会編『松江市史 別編 2 民俗編』[第六章「祭り」と信仰] 第四節「特徴的な宗教民俗」第六項] (2015.9, 779p.)、pp.524-536
- 44 「出雲東部の宗教民俗をめぐる」松江市史編集委員会編『松江市史 別編 2 民俗編』[第六章「祭り」と信仰] 第一節] (2015.9, 779p.)、pp.410-426
- 43 「金屋子神の来歴」上下『山陰中央新報』文化欄(2015.8.6, 7): 山陰中央新報社編『鉄のまほろば——山陰たたらを訪ねて』(山陰中央新報社、2016.5) に再録、pp.124f.
- 42 「デュルケム『宗教生活の基本形態』における「信念」と「実践」」日本宗教学会『宗教研究』88 別冊 (2015.3)、pp.27-29
- 41 「自著紹介: エミール・デュルケム著 (山崎亮訳)『宗教生活の基本形態——オーストラリアにおけるトーテム体系』上下 (ちくま学芸文庫、2014 年)」島根大学附属図書館『湘雲』17 (2015.3)、pp.70f.
- 40 「隠岐の墓上施設——シヤをめぐる」『隠岐の文化財』32 (2015.3)、pp.23-32
- 39 「訳者解説」エミール・デュルケム『宗教生活の基本形態——オーストラリアにおけるトーテム体系』下、ちくま学芸文庫(2014.9)、pp.457-508
- 38 2008-2012 年度科学研究費補助金 (基盤研究(C) (一般) 20520057)研究成果報告書『社会学年報学派的宗教研究に関する体系的研究』(2013.3)、92p.
- 37 「「金屋子信仰」再考」鉄の歴史村地域振興事業団『鉄の歴史村フォーラム 2011 鉄の歴史村 たたら製鉄の実態を探る 田部家古文書調査からの報告 2』報告書 (CD-ROM 版) (2012.10)
- 36 「書評と紹介: 伊達聖伸著『ライシテ、道徳、宗教学——もうひとつの 19 世紀フランス宗教史』」日本宗教学会『宗教研究』85-3 (2011.12)、pp.178-183
- 35 「金屋子神の諸相」島根県立古代出雲歴史博物館『島根県立古代出雲歴史博物館企画展 たたら製鉄と近代の幕開け』(2011.10)、pp.34f.
- 34 「島根県民俗学関連雑誌等目次総覧」『松江市史研究』2 (2011.3)、pp.39-72
- 33 「翻刻 藤井宗雄著『石見国神社記』巻二邇摩郡 (付藤井宗雄の著作について)」島根大学法文学部山陰研究センター『山陰研究』3 (2010.12)、pp.111-164
- 32 「原始心性」、「トーテムイズム」星野英紀/池上良正/氣多雅子/島菌進/鶴岡賀雄編『宗教学事典』丸善(2010.10)、pp.44f., 278f.
- 31 「書評と紹介: 清水哲郎監修、岡部健/竹之内裕文編『どう生き どう死ぬか——現場から考える死生学』」日本宗教学会『宗教研究』84-2 (2010.9)、pp.421-426
- 30 「献呈の辞」島根大学法文学部福祉社会教室『島根大学社会福祉論集』3 [中川政樹教授 退職記念号] (2010.3)
- 29 「デュルケムとモースの「隠された共同作業」——供犠論の生成」日本宗教学会『宗教研究』83-4 (2010.3)、pp.212-214
- 28 「翻刻 藤井宗雄著『石見国神社記』巻一安濃郡」島根大学法文学部山陰研究センター『山陰研究』2 (2009.12)、pp.61-93
- 27 「宗教民俗とコミュニケーション——講演「日本の神々: 出雲地方の神話と祭祀」をめぐる」『島根大学教育学部紀要』42 別冊(2009.2)、pp.55-70
- 26 「福祉文化」考——『福祉文化』の終刊に寄せて」島根大学法文学部福祉社会教室『島根大学社会福祉論集』2 (2008.3)、pp.36-46
- 25 「コムストック『宗教』」、「フランツ・シュタイナー『タブー』」、「デュルケム『宗教生活の原初形態』」、「古野清人『古野清人著作集』」、「山崎亮『デュルケム宗教学思想の研究』」、「レヴィ・ブリュル『未開

社会の思惟』島蘭進／石井研士／下田正弘／澤澤英隆編『宗教学文献事典』弘文堂(2007.12)、pp.150, 183, 252, 336f., 417, 447

24 「墓上施設の現在」『山陰宗門改帳研究会報告書』(2007.3)、p.119

22 「ユベール・モース供犠論の生成」日本宗教学会『宗教研究』79-4 (2007.3)、pp.206f.

23 「献皇の辞」島根大学教育学部福祉文化研究会『福祉文化』4 [木村東吉先生御退任記念号] (2005.3)

21 平成 14-16 年度科研費（基盤研究 C2-14510032）研究成果報告書『現代日本社会における伝統的生死観と先端医療との関係に関する宗教学的研究』(2005.3)、75p.

20 「デュルケム『宗教学生活の原初形態』」、「デュルケム『分類の未開形態』」小松和彦／田中雅一他編『文化人類学文献事典』弘文堂(2004.12)、pp.152-154

19 「老人介護施設における宗教の問題」、「おわりに」島根大学教育学部福祉社会教室『老人介護施設における人材養成の現状と課題』(2004.3)、pp.120-125,129f.

18 「脳死・臓器移植問題の宗教学」日本宗教学会『宗教研究』76-4 (2004.3)、pp.432-433

17 文化庁文化財課『無形の民俗文化財記録第 46 集 巫女の習俗 V 宮城県』(2003.3, 206p.)、pp.69, 76-84, 94-100

16 「墓上施設の現在——隠岐島前の「スヤ」をめぐる」日本宗教学会『宗教研究』75-4 (2003.3)、pp.276f.

15 「信仰」江津市教育委員会『波積の民俗』(2003.3, 189p.) [第三章第七節]、pp.132-157

14 「デュルケム宗教論再考——R.スミスによる「啓示」をめぐる」日本宗教学会『宗教研究』74-4 (2001.3)、pp.52f.

13 「現代に通じる意味探る：白石昭臣・酒井董美『島根の冠婚葬祭』（書評）『山陰中央新報』読書欄(2000.4.17)

12 「隠岐島前の葬送習俗——墓上施設としての「スヤ」をめぐる」、「脳死・臓器移植論議に見る現代日本の生死観——人間関係のなかでの死」平成 9-11 年度科研費（基盤研究 B-09410014）研究成果報告書『高齢化社会における生死観に関する総合的研究』(2000.3, 215p.)、pp.61-75, 182-199

11 「柳田国男の祭祀論」日本宗教学会『宗教研究』72-4 (1999.3)、pp.320f.

10 「法国の正月行事」島根県古代文化センター調査研究報告書 2『島根半島の祭礼と祭祀組織』[第三章「日本海沿岸地区の民俗行事」二「民俗行事の現在」(一)「正月行事」B] (1997.3)、p.69

9 「初期ルソーの宗教観」日本宗教学会『宗教研究』70-4 (1997.3)、pp.31f.

8 「デュルケム宗教論における〈社会〉の問題」日本宗教学会『宗教研究』66-4 (1993.3)、pp.54f.

7 「デュルケム宗教論における〈人間〉の問題」日本宗教学会『宗教研究』64-4 (1991.3)、pp.94f.

6 「デュルケムにおける道徳と宗教について(3)」日本宗教学会『宗教研究』61-4 (1988.3)、pp.31f.

5 「デュルケムにおける道徳と宗教について(2)」日本宗教学会『宗教研究』60-4 (1987.3)、pp.113f.

4 「デュルケムにおける道徳と宗教について」日本宗教学会『宗教研究』59-4 (1986.3)、pp.87f.

3 「(紹介) 渡辺信夫編『宮城の研究』」東北大学国史談話会『国史談話会雑誌』26 (1985.12)、pp.54f.

2 「デュルケム宗教社会学の基底をめぐる」日本宗教学会『宗教研究』58-4 (1985.3)、pp.41f.

1 「デュルケムにおける〈聖〉概念の意味」東北印度学宗教学会『論集』10 (1983.12)、pp.137f.

## ○口頭発表

53 「自覚と叫びとしての念仏——大仏空の宗教思想と「青い芝」」第 14 回山陰社会福祉研究会（島大人間科学部、2024.1.31）

52 「「青い芝」の源流としての大仏空——そのテキストと思想」障害学会第 20 回大会（東大先端科学技術研究センター、2023.9.17）

51 「社会学年報学派における認識論の構図」科研費（基盤(C)）宗教学の生成とその展開に関する総合的研究 公開研究会「宗教学生成期における哲学の位置」（東大文学部、2018.12.1）

50 「金屋子神縁起類の諸相再考」島根県古代文化センターテーマ研究「たたら製鉄の成立過程」客員研究員共同検討会（島根県埋蔵文化財センター、2018.3.22）

49 「明治初年隠岐島における神社調査について」島根県古代文化センターテーマ研究「隠岐の祭礼と芸能に関する研究」客員研究員共同検討会（島根県古代文化センター、2018.1.8）

48 「宗教学者」デュルケムの生成（パネル「デュルケム宗教学思想の可能性——没後 100 年によせて」）日本宗教学会第 76 回学術大会（東大文学部、2017.9.17）

47 「「青い芝の会」の宗教思想」日本宗教学会第 75 回学術大会（早大、2016.9.10）

46 「『共和国か宗教か、それとも』（宇野重規・伊達聖伸・高山裕二編、白水社、2015 年）をめぐる：報告 1」第 16 回フランス政治思想研究会（東大社会科学研究所、2016.7.29）

45 「一宗教学者から見た脳死・臓器移植問題」第 49 回日本臨床腎移植学会特別企画講演（米子コンベンションホール、2016.3.24）

44 「デュルケム『宗教学生活の基本形態』における「信念」と「実践」（パネル「宗教学誕生期の再検討——ミユラーからデュルケムまで」）日本宗教学会第 73 回学術大会（同志社大、2014.9.14）

43 「井上寛司著『「神道」の虚像と実像』を読む——宗教学の視点から」第 33 回歴史社会研究会（島大法文学部、2012.11.7）

42 「木ノ下金屋子神社の成立と「金屋子神略記」」田部家古文書調査研究会（島大法文学部、2011.8.6）

41 「「金屋子信仰」再考」島根県古代文化センター 2010 年度第 2 回「山陰の製鉄学」客員研究員検討会議（島根県古代文化センター、2010.12.23）

40 「社会学年報学派の宗教学思想」社会文化学科学研究交流会（島大法文学部、2010.3.16）

39 「浮遊する生死観——脳死・臓器移植問題を手がかりに」タナトロジー研究会 in 島根「生死観をめぐる現在…医療と民俗のあいだ」（島根県民会館、2010.3.6）

38 「浜田の国学者藤井宗雄の著作について」第 13 回山陰宗門改帳研究会（島大法文学部、2010.2.5）

37 「デュルケムとモースの「隠された共同作業」——「供犠論」の生成」日本宗教学会第 68 回学術大会（京大、2009.9.12）

36 「石見地方の森神信仰」山陰民俗学会平成 21 年度年会（松江テルサ、2009.8.2）

35 「私はなぜここにいるのか——福祉文化論の挑戦」第 3 回山陰社会福祉研究会（島大法文学部、2009.6.27）

34 「『神社書上帳』にみる石見地方の森神信仰」第 9 回山陰宗門改帳研究会（島大法文学部、2008.6.28）

33 「宗教民俗をめぐる異文化間コミュニケーションと世代間コミュニケーション」第 4 回「世代間コミュニケーション」研究会（島大教育学部、2008.3.13）

32 "La relativisation de la notion de mort : la mort cérébrale et la transplantation d'organes au Japon" (Séminaire bioéthique et société ; Autour du don d'organe : Centre Européen d'Enseignement et de Recherche en Ethique, Strasbourg, 2007.12.6)

31 "La mort cérébrale et la transplantation d'organes au Japon/日本における脳死・臓器移植" (Conférence : Maison Universitaire France-Japon, Strasbourg, 2007.4.11)

30 "La mort cérébrale et la transplantation d'organes au Japon" (Conférence à Journées d'études des doctorants du Groupe d'études orientales : Université Marc Bloch, Strasbourg, 2007.3.26)

- 29 「ユベール・モース供儀論の生成」日本宗教学会第 65 回学術大会（東北大、2006.9.18）
- 28 「社会学年報学派の宗教学思想・序説」印度学宗教学会第 49 回学術大会（大正大、2006.6.10）
- 27 「墓上施設の現在——隠岐、対馬、壱岐におけるスヤをめぐる」第 2 回山陰宗門改帳研究会（島大法文学部、2005.7.15）
- 26 「宗教と暴力——オウム真理教事件を手がかりに」第 7 回福祉文化研究会（島大教育学部、2004.7.14）
- 25 「脳死・臓器移植問題の宗教学」日本宗教学会第 62 回学術大会（天理大、2003.9.4）
- 24 「墓上施設の現在——隠岐島前の「スヤ」をめぐる」日本宗教学会第 61 回学術大会（大正大、2002.9.14）
- 23 「近代宗教学思想における神観念——R.スミス、デュルケーム、柳田国男の所論を手がかりに（課題研究）」印度学宗教学会第 44 回学術大会（島大、2001.6.3）
- 22 「デュルケーム宗教論再考——R.スミスによる「啓示」をめぐる」日本宗教学会第 59 回学術大会（駒澤大、2000.9.14）
- 21 「隠岐島前の墓上施設——「スヤ」の現象学に向けて」山陰民俗学会平成 12 年度年会（松江テルサ、2000.8.6）
- 20 「隠岐島前の葬送習俗——「スヤ」をめぐる」印度学宗教学会第 42 回学術大会（聖和学園短大、1999.5.30）
- 19 「柳田国男の祭祀論」日本宗教学会第 57 回学術大会（龍谷大、1998.9.15）
- 18 「現代日本の死生観——脳死・臓器移植論議に見るその一断面」印度学宗教学会第 41 回学術大会（天理大、1998.6.14）
- 17 「初期ルソーの宗教観」日本宗教学会第 55 回学術大会（國學院大、1996.9.21）
- 16 「デュルケーム宗教論における〈社会〉の問題(2)」日本宗教学会第 52 回学術大会（北大、1993.9.12）
- 15 「デュルケーム宗教論における〈社会〉の問題」日本宗教学会第 51 回学術大会（淑徳短大、1992.9.13）
- 14 「デュルケーム宗教論における〈人間〉の問題」日本宗教学会第 49 回学術大会（大谷大、1990.9.14）
- 13 「都市近郊農村における伝統的信仰の諸相」印度学宗教学会第 33 回学術大会（東北学院大、1990.5.26）
- 12 「デュルケームにおける「個人的宗教」について」印度学宗教学会第 32 回学術大会（天理大、1989.5.20）
- 11 「デュルケーム宗教論における idéal について」印度学宗教学会第 31 回学術大会（大正大、1988.5.21）
- 10 「デュルケームにおける道徳と宗教について(3)」日本宗教学会第 46 回学術大会（立教大、1987.9.17）
- 9 「デュルケームにおける道徳と宗教について(2)」日本宗教学会第 45 回学術大会（京大、1986.9.15）
- 8 「宗教と儀礼——デュルケームの所論を中心に（課題研究）」東北印度学宗教学会第 29 回学術大会（宮城学院女子大、1986.5.25）
- 7 「デュルケームにおける道徳と宗教について」日本宗教学会第 44 回学術大会（立正大、1985.9.14）
- 6 「デュルケームにおける道徳と宗教」東北印度学宗教学会第 28 回学術大会（東北大、1985.5.26）
- 5 「デュルケーム宗教社会学の基底をめぐる」日本宗教学会第 43 回学術大会（皇學館大、1984.9.16）
- 4 『宗教生活の基本的諸形態』における「基本的宗教」について」東北印度学宗教学会第 27 回学術大会（聖和学園短大、1984.5.27）
- 3 「デュルケームにおける〈聖〉概念の意味」東北印度学宗教学会第 26 回学術大会（東北大、1983.5.29）
- 2 「宗教の社会的機能——ラドクリフ＝ブラウンの宗教研究について」東北印度学宗教学会第 25 回学術大会（山形女子短大、1982.5.28）
- 1 「儀礼の社会的機能——ラドクリフ＝ブラウンにおける儀礼解釈について」東北印度学宗教学会第 24 回学術大会（宮城学院女子大、1981.5.23）

#### ○口頭発表（一般向け）

- 16 「死者たちのゆくえ」令和 5 年度松江市社会福祉大会記念講演（くにびきメッセ、2023.11.22）
- 15 「日本人は無宗教？そもそも宗教ってなあに？」大社地域自治協会連合会おもてなし部会インバウンド対応研修（大社コミュニティーセンター、2020.1.17）
- 14 「当事者 VS 支援者——服従か反抗か、それとも……」(目次孝之・足立孝子・山崎亮) 特定非営利活動法人 YC スタジオ「専門家と当事者による連続講演会 No.2」(松江市 STIC ビル、2019.9.7)
- 13 「『聖道 念佛義抄文』読み解き座談会」(アドバイザー 山崎亮) 新解放理論研究会夏期学習会(マハラバ文庫 [山梨県中央市]、2019.8.24-25)
- 12 「話題提供：ふむふむカフェ de たまたま宗教学」第 4 回ふむふむカフェ（島大学生市民交流ハウス FLAT、2018.12.19）
- 11 「高次脳機能障害当事者の語り——それぞれの体験から」(祝部英明・松葉美和子 with 高橋幸夫・山崎亮) GOMA 奉納演奏——高次脳機能障害当事者ととも（出雲大社神楽殿、2018.11.11）
- 10 「金屋子神の来歴——「金屋子神略記」と「金山姫宮縁記」をめぐる」和鋼博物館公開講座（和鋼博物館、2017.10.15）
- 9 「金屋子神の来歴」島根県古代出雲歴史博物館ミニ展示「たたら製鉄と金屋子信仰」関連講座（島根県古代出雲歴史博物館、2017.5.27）
- 8 「金屋子神とたたら製鉄」日本遺産認定記念講演会 in 安来（和鋼博物館、2016.8.21）
- 7 「生命倫理入門 2——脳死の語られ方」鹿島病院倫理委員会研修会（鹿島病院、2015.12.10）
- 6 「生命倫理入門——死に方の決め方めぐって」鹿島病院倫理委員会研修会（鹿島病院、2014.12.4）
- 5 「隠岐の墓上施設——「スヤ」をめぐる」隠岐の島町教育文化振興財団文化講演会（隠岐島文化会館、2014.11.29）
- 4 「金屋子神の諸相」島根県古代出雲歴史博物館企画展「たたら製鉄と近代の幕開け」関連講演（島根県立古代出雲歴史博物館、2011.12.3）
- 3 「『金屋子信仰』再考」鉄の歴史村地域振興事業団「鉄の歴史村フォーラム 2011」講演（雲南市吉田健康福祉センター、2011.11.12）
- 2 「日本人と宗教——神々の国出雲の事例から」平成 23 年度中国・四国地方宗教学法人事務担当者研修会講演（地方職員共済会館ホテル宍道湖、2011.8.4）
- 1" Les divinités du Japon : les mythes et les cérémonies de la région d'Izumo" (Conférence : Le centre Européen d'Etudes Japonaises d'Alsace, Colmar, 2007.5.24)